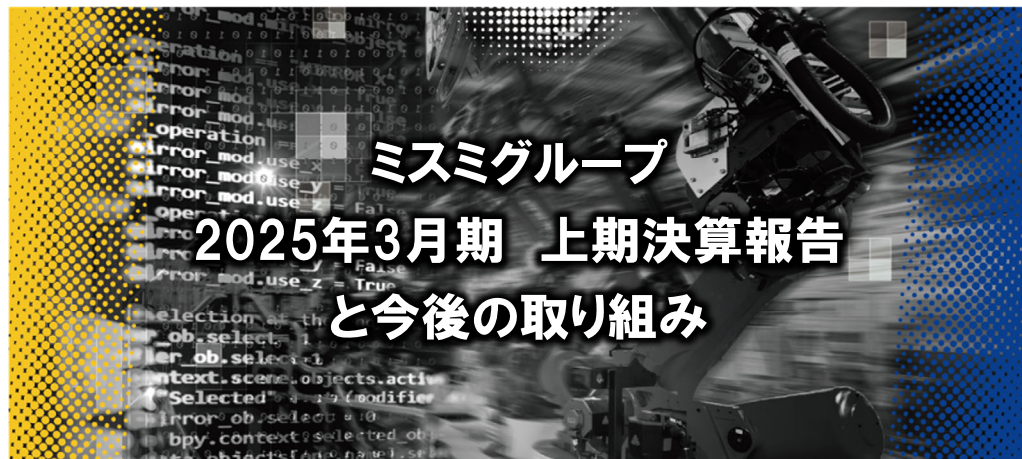




2024年10月25日
代表取締役社長 大野龍隆

24年度上期 決算概要

目次

1. 24年度上期 決算概要	2
2. 24年度通期 業績見通し	10
3. 今後の成長戦略と24年度上期の進捗	16
4. 参考資料	28

為替レート (対円)	FY23 実績		FY24	
	上期	通期	上期 実績	下期 想定
USドル	141.3円	144.4円	152.3円	145.0円
ユーロ	153.5円	156.8円	165.5円	157.0円
人民元	19.8円	20.1円	21.2円	20.0円

24年度上期の市況と当社の取り組み

- 当初の見立て
 - 地政学リスクや為替影響等、事業環境の不確実性が継続
 - 上期は緩やかな回復基調に留まる
 - 下期より自動車、半導体関連等設備投資が本格的に回復
- 上期の市況と需要動向
 - 全体として緩やかな回復傾向にあるも地域差が顕著
 - 通信関連が好調も自動車・半導体等の回復は想定より遅れ
- 当社の取り組み
 - 通信関連需要獲得(中)に加え、独自施策は順調
 - 中期的な視点による地域ポートフォリオの改定・戦略発動
 - “デジタルモデルシフト” × “地域毎成長戦略”を一層加速

24年度上期 決算概要

緩やかな需要回復および独自施策効果で上期売上高過去最高を更新
数量増・商品MIX・為替等の増益により基盤強化に関わる支出を十分捻出

項目	FY23上期	FY24上期			
	実績	公表値 (4/26)	実績	増減率	
				対前年	対公表
売上高	180,094	189,800	198,022	+10.0%	+4.3%
営業利益	18,515	20,200	23,390	+26.3%	+15.8%
利益率	10.3%	10.6%	11.8%	+1.5pt	+1.2pt
経常利益	20,007	20,900	25,221	+26.1%	+20.7%
当期利益	14,185	15,200	18,200	+28.3%	+19.7%

4

24年度上期 事業別売上高・営業利益

全事業セグメント増収、通信関連需要の寄与でFA事業は二桁成長
FAの収益性大幅改善、金型・VONAの営業利益率は前年同水準

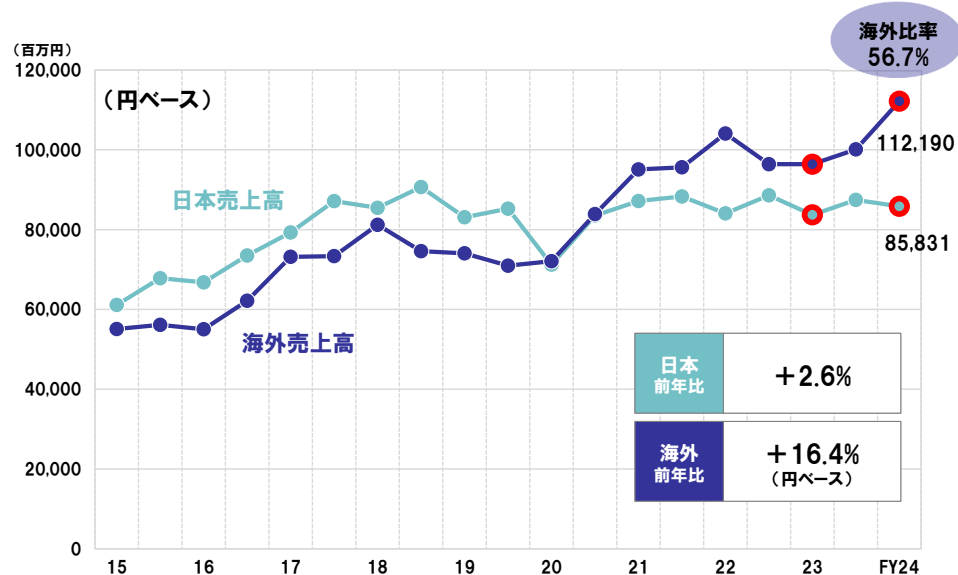
項目	売上高			営業利益			
	FY23上期 実績	FY24上期 実績	対前年増減率 円ベース (※)	FY23上期 実績		FY24上期 実績	
				利益率	利益率	利益率	円ベース (※)
合計	180,094	198,022	+10.0% (+6.1%)	10.3%	10.3%	11.8%	+26.3% (+13.5%)
FA事業	57,895	66,854	+15.5% (+11.4%)	12.6%	12.6%	17.3%	+58.1% (+43.8%)
金型部品 事業	39,329	42,819	+8.9% (+3.7%)	10.9%	10.9%	10.7%	+6.3% (▲5.7%)
VONA 事業	82,868	88,347	+6.6% (+3.7%)	8.3%	8.3%	8.2%	+5.2% (▲6.6%)

※現地通貨ベース

5

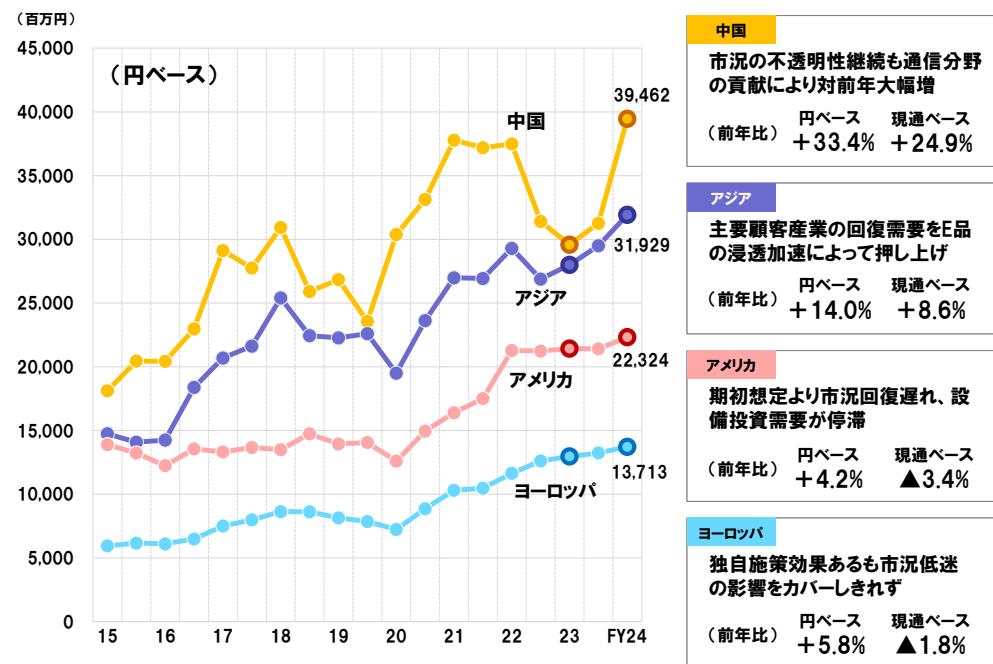
24年度上期 日本・海外売上高

日本:自動車関連需要を中心に緩やかな回復が継続し増収確保
海外:中亜において需要が底堅く推移、欧米は引き続き低調



6

24年度上期 地域別売上高

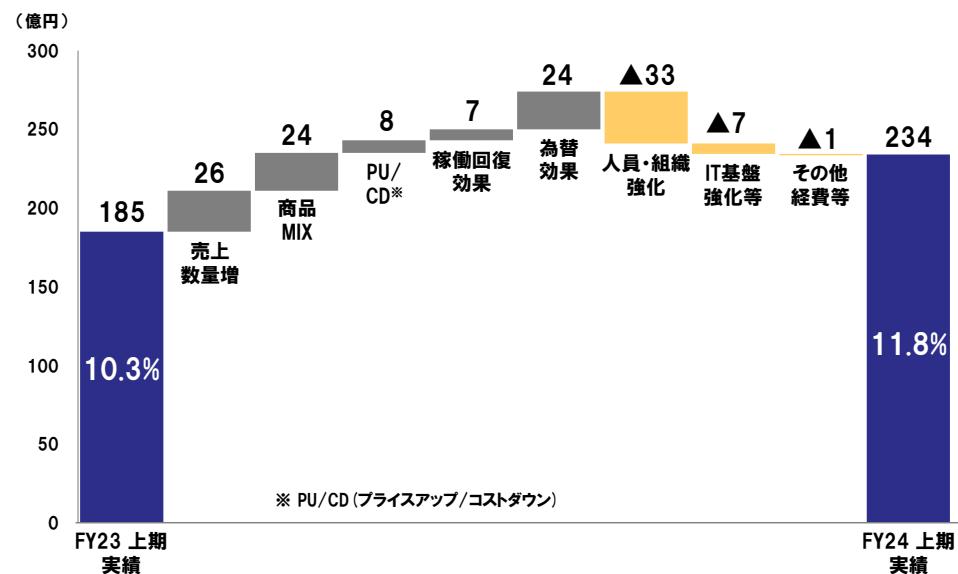


7

24年度上期 営業利益増減分析(対前年)

売上数量増・商品MIX・為替効果を中心に増益

モデル進化に向けて人員組織・IT基盤を継続強化も収益性1.5pt改善

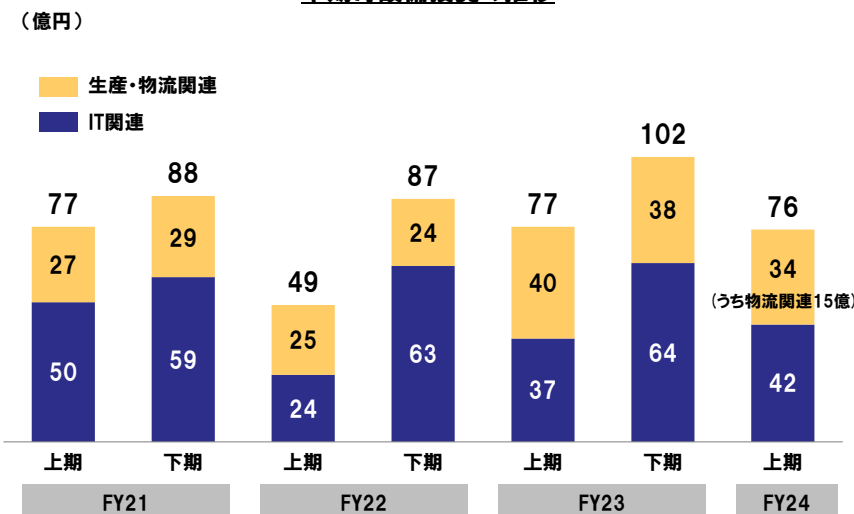


8

投資実績

基盤強化に向けた投資を継続、上期実績は前年並みの水準

半期毎設備投資の推移



9

24年度通期 業績見通し

24年度通期 業績見通し

通期計画を上期過達分上方修正、売上高は過去最高を更新する見込み
 下期見立て：日中亜は自動車・半導体の需要回復、欧米は若干遅れた需要回復を見込む
 攻めの施策は継続実行、収益管理徹底により収益性は対上期更に向上

百万円

項目	FY23	FY24		
	実績	見通し (10/25)	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	367,649	401,200	+9.1%	+7.8%
営業利益	38,365	49,100	+28.0%	+23.9%
利益率	10.4%	12.2%	+1.8pt	+1.6pt
経常利益	41,265	51,600	+25.0%	-
当期利益	28,152	37,100	+31.8%	-

FA:独自施策効果+下期は日・中・亜の需要回復傾向により高成長維持
金型・VONA:下期金型は亜・欧、VONAは亜・米を中心に売上伸長継続

12

日本:上期弱含んだ自動車・半導体関連需要は3Qから緩やかに回復
海外:下期は中亜の成長継続に加え、欧米も4Qからの回復傾向を見込む



14

上期同様に、売上数量増・PU/CD・商品MIX等により増益
人員組織・IT基盤強化は予定通り実行も収益性は前期比1.8pt改善



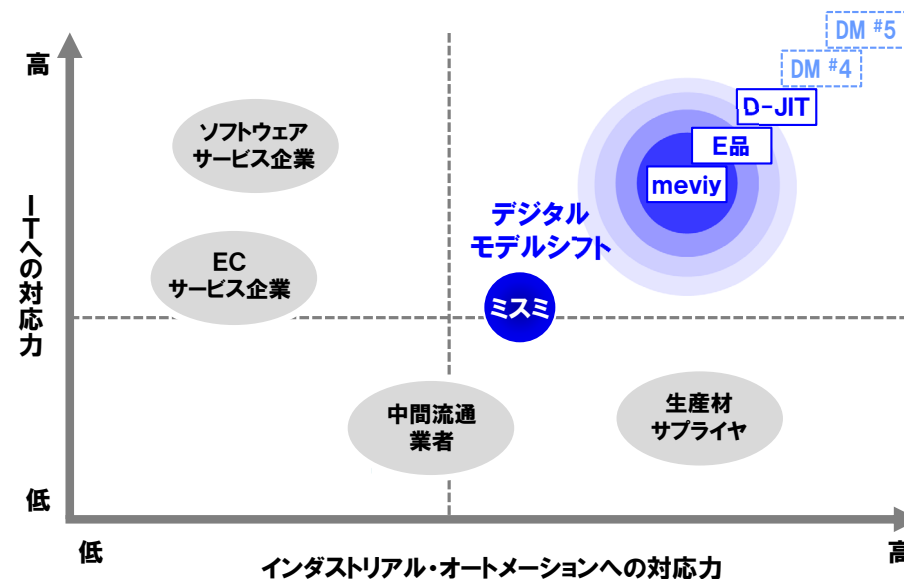
今後の成長戦略と24年度上期の進捗

16

ミスミのデジタルモデルシフト

2024年3月期
通期決算報告
再掲

多様化進む自動化顧客ニーズに対応すべく、デジタルモデルを継続開発
地域毎成長戦略とのシナジーにより、ユニークな競争優位性を築く



17

地域毎成長戦略

2024年3月期
通期決算報告
再掲・一部修正

異なる市場毎ニーズ対応を企図し、市場に合致したデジタルモデル化を推進
地域毎に異なる競争環境に適応する各地域最適モデルを構築

	需要の中心		デジタルモデル				地域市場としての位置付け
	設備設計	工場量産	#1 meviy	#2 E品	#3 D-JIT	#4 ..	
欧	○	○	○	○	○	...	ドイツ語圏以外地域への拡大
米	○	○	○	○	○	...	中期視点で「重点地域」指定
日	○	○	○	○	○	...	事業開発拠点
中	○	○	○	○	○	...	市況回復期を慎重に見極め
亜	▲	○	*) ▲	○	○	...	「重点地域」変わらず

*) 韓国を除く

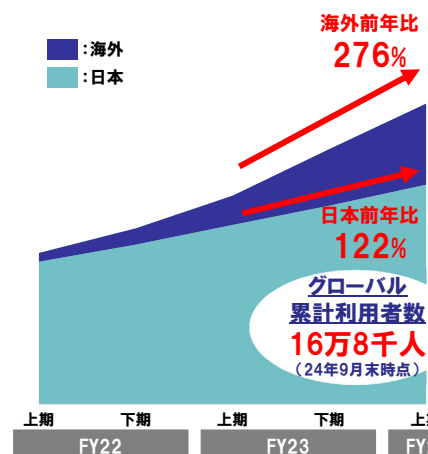
18

DM #1

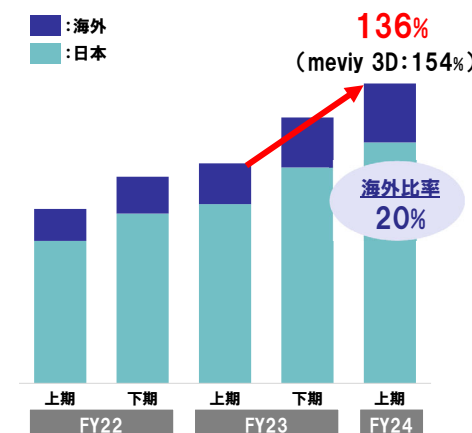
meviy の展開加速

商品強化・システムインテグレート等の拡充で利用者数が16万人超
日本の成長継続に加えグローバルでも売上拡大し、海外比率は2割

meviy 3D 累計利用者数推移



特注品グローバル売上高 (meviy 3D + 2D)



19

meviy事業強化計画

グローバル顧客の多様なニーズに適応する商品・システムを順次強化
新たな加工品受注PFとしてmeviyマーケットプレイスモデルを9月より展開

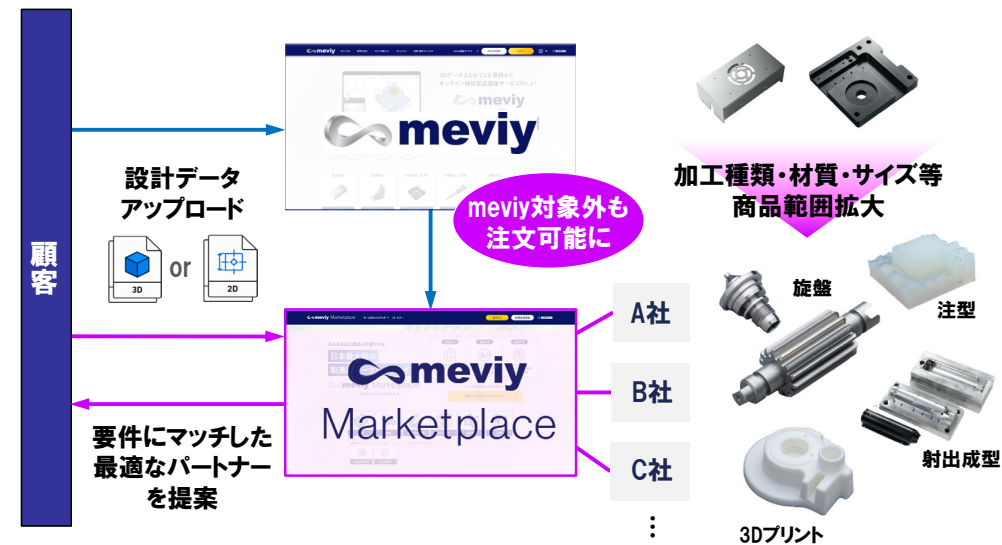
●:FY24上期展開済 ○:FY24下期展開予定

FY24 取り組み		日	欧	米	中	韓
商品強化	・溶接部品:商品範囲拡大	●				
	・角物:サイズ拡大(~2m)	●	●	●		
	・環境対応(脱脂洗浄)	○	○	○		
	・中国生産拡大	○	○	○		
	・商品領域一気拡大	○	○	○	○	○
システム インテグレート	・顧客内データ共有機能提供	○	○	○	○	○
	・CADアドオンツールリリース	○				
	・マーケットプレイスモデル追加	●				

20

meviyマーケットプレイスの展開

仕入先探索等の膨大な手間を省き、顧客はワンクリックで調達可能
厳選したパートナー(約100社)と協業し商品範囲拡大・利便性向上を同時実現

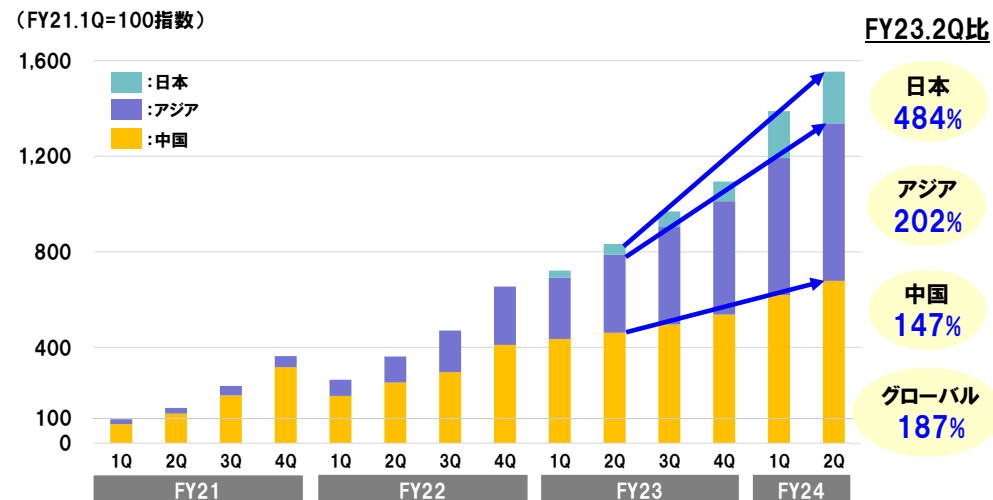


21

エコノミー品の浸透拡大

バリエーション増加が更なる浸透加速に貢献し、売上は前年比87%増
全地域が高成長する中、亜(特に韓・泰・越・印)が一層拡大し中国を超える規模に

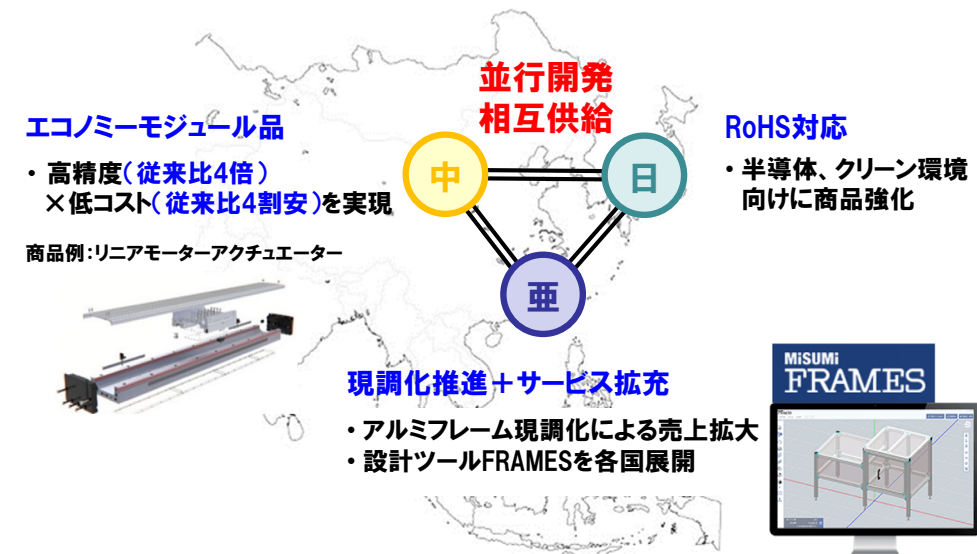
売上高推移



22

エコノミー品の地域毎対応強化

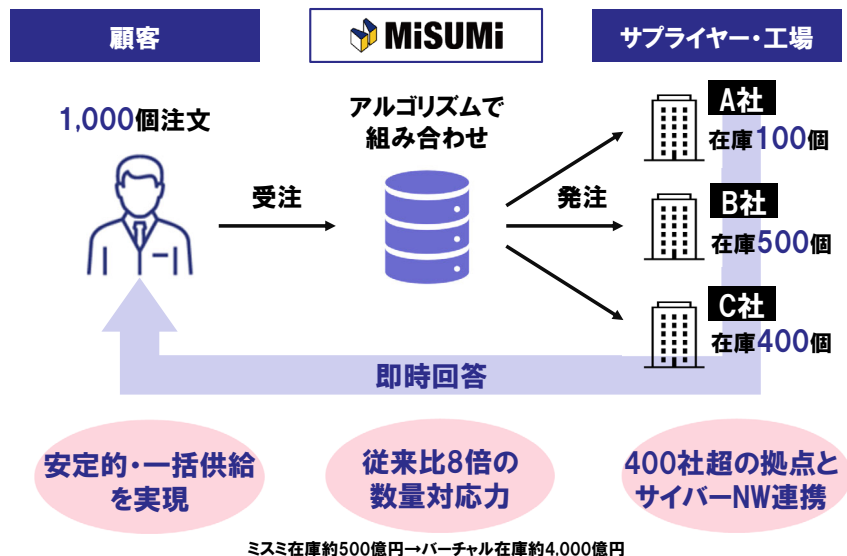
日・中・亜3地域毎の顧客需要を踏まえ、予定通り差別化図る施策を推進中
独自に開発した商品やツールにより市場浸透スピードが加速



23

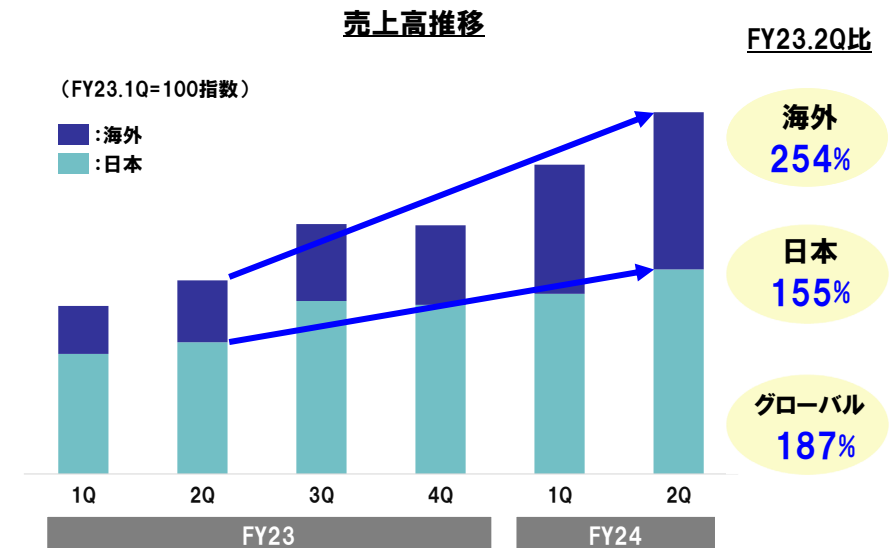
D-JIT:大量調達の実現

大量調達でも顧客希望数量を短納期で応える独自システムを構築・展開
日本からグローバルに拡大し、「少量短納期のミスミ」から「大量でもミスミ」へ



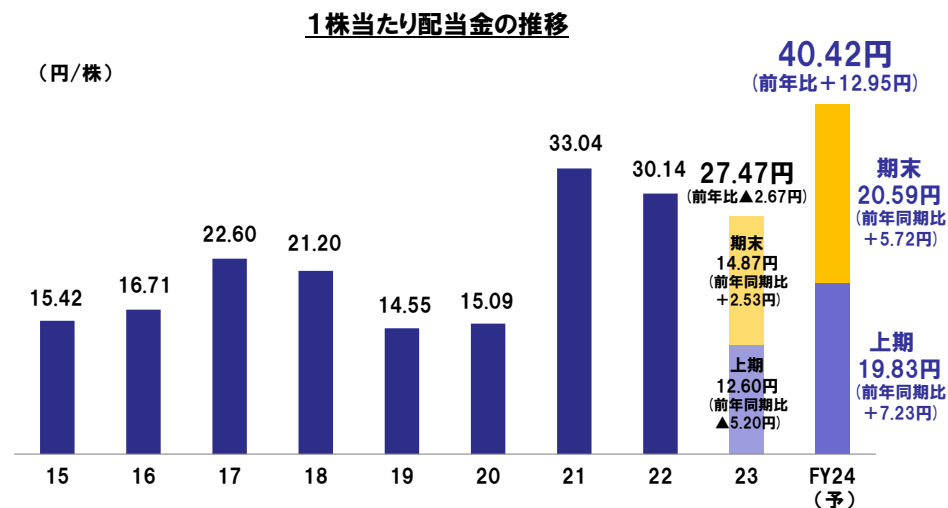
D-JITによる売上創出

先行展開の日・台・泰に加え、テスト展開中の米・中・欧も売上拡大が順調
数量対応力向上により顧客数増加、グローバルで累計6万社を突破



株主還元

24年度上期配当は19.83円で前年同期比7.23円増
年間配当は40.42円、前年比12.95円増を見込む(配当性向30%)



パンチ工業との資本業務提携

■ 本提携について

- 両社の強みを最大限活かし、**金型用部品**に限らず、**FA・meviy**含め**標準品**から**特注品**まで幅広い**金属加工分野全般**において相互に補完・強化

■ 当社の強み

- 長年培った標準化のノウハウ、先進的なデジタル技術
- グローバル確実短納期の供給体制

■ パンチ工業の強み

- 高度な精密加工技術
- 特注品分野における高い対応力

■ 今後両社の協業について

- 国内においては、**商品の相互供給**を皮切りに、**共同配送・共同保管**といった**物流協業**等も進め、**シナジー**の早期実現を目指す
- 海外においては、**成長市場開拓**、**更なるビジネスチャンス創出**を、両社のもつ**リソース**を最大限活用し、金属加工分野における競争優位性向上を狙う

参考資料

24年度 為替レート・感応度

為替レート (対円)	FY23 実績		FY24	
	上期	通期	上期 実績	下期 想定
USドル	141.3円	144.4円	152.3円	145.0円
ユーロ	153.5円	156.8円	165.5円	157.0円
人民元	19.8円	20.1円	21.2円	20.0円

	為替感応度	
	売上高	営業利益
影響額目安※	約20億円	約6億円

※全取引通貨が平均的に1%変動した場合

DM #1

部品調達革命:meviy

●機械部品の3DデータをアップロードするだけでAIが自動で即時見積もり、独自のデジタル製造システムにより最短1日での出荷を実現するプラットフォーム(無料)



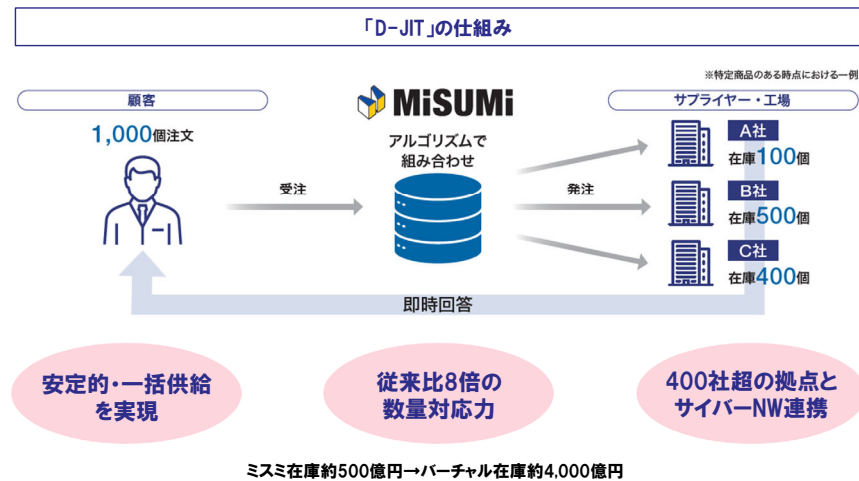
DM #2

品揃改革:エコノミー品

●中国発、ミドルレンジ需要に向け新たに投入した価格競争力の高い商品シリーズ



- 顧客の希望数量に対し、世界中に点在する複数のサプライヤー在庫を瞬時に組み合わせ、価格と納期を自動で表示。「少量短納期のミスミ」から「大量でもミスミ」へ



※D-JIT＝「デジタル版のJust in Time」

IT

- 持続的な成長に向けて積極的なIT投資を実施
- FY21から基幹システムの全面刷新を開始。新機能開発スピード3倍、開発コスト3分の1を目指す。4年間で計200億円規模の投資

生産・物流

- グローバルで確実短納期体制を強化し、より一層の商品の安定供給を目指す

